

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災からすでに 5 年が経過しました。東北地方ではいまだその爪痕が残っている場所もあります。

しかしながら復興は着実に進んでおり、広報しもだでは、震災直後、県からの要請で市職員を派遣した「岩手県下閉伊郡山田町」の元気な姿を紹介します。黒船祭でも毎年「かき小屋」の出店のために来ていただいている山田町に、みなさんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。



溢れる自然と伝統のあるまちです

山田のごちそう・おみやげ

マツタケ・シイタケの産地としても名高く、全国に 3 人しかいない「原木乾椎茸づくり名人」のうち 2 人が山田の人！他にも「山田せんべい」「すつとぎ」などの菓子や「いかとっくり」などの水産加工品も人気。

飲食は、蒸し焼きカキ食べ放題の「かき小屋」、新鮮な海山の幸が味わえる寿司・割烹、あっさり醤油味で極細ちぢれ麺の中華そば店、こだわり素材のうどん店など、味自慢の店がいろいろ。ぜひ山田の味をご賞味ください。



山田町長
山田 信逸 様

山田町町長の佐藤です。楠山市長はじめ下田市の皆様には職員の派遣など物心両面にわたり、大変お世話になっております。

おかげさまをもちまして、復興事業もいろいろな課題を抱えながらではありますが、おおむね順調に進んでおります。あらためて深く感謝申し上げます。

今後ともよき友としてお付き合い頂きたいと、よろしく願っています。



山田のみどころ

山田を訪れた人が一様に感心するのは、鏡のように穏やかな海面にカキホタテの養殖筏が整然と並び、そこに緑濃い 2 つの無人島がアクセントを添える山田湾の景観。

特に国道 45 号織笠大橋付近からの眺めは、湾口からのぞく水平線も相まって箱庭のような美しさです。この豊かな海が育むカキ、ホタテ、鮭などを味わおうと、旬の時期には「カキまつり」「鮭まつり」などのイベントも開かれ、多くのお客様を集めます。そして山田を語るうえで欠かせないのが、9 月のシルバーウィークに行われる「山田祭り」。山田八幡宮と大杉神社の神幸祭で、町内を練り歩く八幡様の暴れ神輿、海上渡御が見所の大杉様の神輿、それに続く神楽、虎舞、鹿舞などの郷土芸能と、圧倒的な気迫と熱量で、見るものを魅了します。



海の幸も山の幸も盛りだくさん！

